

石川県重症心身障害児(者)を守る会
 全国重症心身障害児(者)を守る会
 石川県支部 会長 山本 衛

毎日厳しい暑さが続いているこの頃ですが、会員のみなさま方、お子さま方にはお変わりなくお過ごしでしょうか。

国会が急に解散になり参議院で審議中だった「障害者自立支援法」は廃案となりました。この法案が提案されて以来、多くの障害者団体や親の会から不安や疑問が出されており国会につめかけて訴えた成果だと思えます。福祉のあり方を根本から覆す法案であり、今後も動向に注意する必要があります。

さて、本年度の総会も多くのお会員みな様のご協力が無事に終えることができ、秋の活動の準備にとりかかっているところです。

平成17年度

石川守る会開催される



去る6月12日医王病院の会議室にて今年度の総会が開催されました。当日は正会員26名、賛助会員2名の参加と28枚の委任状で規約に基づき総会は成立しました。当日は山本会長が体調不良のため欠席で副会長以下残りの役員で何とか総会を運営し、会員の皆さんのご協力もあり無事終えることができました。

まず越坂事務局長より平成16年度の活動状況が報告されました。昨年東京で開催された「守る会」創立40周年記念大会には石川より会長はじめ6名の参加がありました。厳しい社会・経済情勢の中、「もっとも弱い命を守る」という初心・原点を今こそ忘れてはならないと言うことでさまざまな議論がなされたようです。

秋に開催された「福祉のつどい 2004 金沢」にも参加し、パネルなどで「守る会」の活動を展示したり、会の概要パンフを配布したりしました。

また例年本部の補助事業として行ってきた「感覚的体験プログラム」を本部の補助はなくなりましたが支部独自で取り組み、楽しいレクリエーションや生のハーブの演奏を聴くことができ好評でした。

6年目を迎えた「ハートポップ」には昨年も音楽療法の佐藤先生、紙芝居のまりん、鈴木ピアノ教室のみなさんなど多くの方が来てくださり子供たち、ボランティアとともに毎月楽しい1日を過ごすことができました。

続いて平成17年度の事業計画が提案されました。今年度は本部の補助事業で1泊の集団療育キャンプに取り組むことにしました。泊を伴う行事は初めてのことで、医師や看護師をはじめとする多くのスタッフが必要となり、現在準備を進めているところです。

会計報告と合わせて会員の動向も報告され、七尾病院で新入会員が増えている

と言ううれしい報告もありました。

尚今総会に当たって「ふれあいの家」建設についての会員の皆さんからの意見も頂き、文書で報告されました。建設はしたいが維持・管理・資金などの面で課題も多くもっと検討する必要があるとの意見が大半でした。

報告後いくつかの質問・意見が出され、そのご総会での提案は承認されました。

総会后医王病院の小原事務局長さんより独立行政法人としてスタートした医王病院のこれからについてお話がありました。以下に要点を抜粋しました。

「講演 新しい医王病院の取り組みについて」より

- ・平成 16 年度独立行政法人としてスタートして以来外来管理等を初めとする様々な工事に取り掛かってきており、3 病棟の新築、調理部門、自家発電、エアコンプレッサーなど施設設備の充実に努めてきた。
- ・スタッフにも皮膚科の医師、ソーシャルワーカーを迎え PT, OT も増員して小児科のチーム医療を目指していきたい。
- ・若松病院との統合により新たに 36 人の患者さんを受け入れ 7 月 1 日より新医王病院としてスタートした。
- ・今後社会保険庁の土地を購入し、重心病棟や筋ジス病棟の改築にも順次取り掛かる予定である。MRI 棟の充実、売店の設置さらには小児病棟を療養型に対応できるよう改築していく予定もある。
- ・デイケア棟を改修して通園・デイケア事業を 7 月より開始する。火曜日から土曜日まで、10 時～3 時の間に行い、入浴は週 2 回を予定している。送迎のためにリフトカーも準備した。スタッフは指導員 3 名のほか病棟からも看護師、OT, PT 応援もしたいと考えている。

お話の後会員の皆さんから質問・意見がだされました。

- ・病棟の改築のめどはいつごろか・・・予算の関係もあるのではっきりとは言えないが 20 年度までを見込んでいる。
- ・新しい病棟を建てるときに私たちが望んでいる「ふれあいの家」のようなものが組み込めないか・・・どんなものが本当に必要なのか皆さんと意見を交換していきたい。

事務局長さんより病院の将来について具体的なお話が聞けて会員の皆さんも一安心だと思います。これからも連絡を取り合いながら障害の重い人たちが豊かな日々を送れるような施設にしていけるようにお互いに努力していきたいものです。

お忙しい中総会に参加して下さった皆さん、また委任状に意見を書いて下さった皆さんありがとうございました。今年は役員改選の年で副会長をはじめとして事務局体制も少し見直しました。会員の皆さんの意見を伺いながらよりよい活動ができるようがんばりたいと思いますのでよろしくお願いします。





日本自転車振興会補助事業

集団療育キャンプ

総会でもお知らせしたように今年度の本部補助事業として「集団療育キャンプ」を実施することになりました。以下に概要をお知らせします。

場 所 かんぼの郷 白山尾口

石川県白山市尾口村字瀬戸 卯43-3

日・時 平成17年11月12日(土)～11月13日(日)

参加者 対象者・・重症児(者) 12名 保護者 12名

スタッフ・・医師・看護師など 9名

ボランティア・・12名

総数 45名

日 程 (予定)

11月12日(土)

11月13日(日)

13:00 かんぼの郷 白山尾口

7:30 起床

集合・受付

13:30

8:00 朝食

講演会

15:30

9:00

16:00 介護実習・体験

9:30 介護実習・体験

プール遊び・入浴

18:00

11:00 反省会

18:30

11:30 解散

親睦会(夕食)

21:00

ミーティング

22:00

22:30 就寝

会 費 親子で7千円

8000円



2477

*参加を希望される方、質問のある方、ボランティアのできる方は松田さん (TEL・FAX076-222-2691) までご連絡ください。

尚 かんぼの郷の予約の都合上、参加の申し込みは定員に達し次第打ち切らせていただきます。

国会で審議中だった「障害者自立支援法案」は8月8日衆議院解散に伴い審議未了のまま廃案になりました。法案が提案されてから「障害者の生きる権利を奪うもの」として全国各地で反対や見直しの運動が広がっていました。金沢でも7月18日にフォーラムが開かれ300人以上の参加者で会場は満員でした。

このときに採択したアピール署名を石川県選出の国会議員などに届けました。このような各地の運動がなければ早い段階で採決されていたと思われます。これからもこの問題については注意深く見ていくことが必要です。

障害者支援法案

「個人負担増に反対」

金沢でフォーラム アピール満場採択

フォーラムでは国際組「ヨナル日本会議の尾上浩織・障害者インターナショナル」事務局長が「低所得の

障害者に負担を求めず、施設からの自立を支援してきた過去の政策と矛盾する。時代に逆行した法案であり、もっと議論が必要」などと批判。続いて県内在住の身体障害者や施設職員ら五人が意見発表した。重度身体障害者の女性は「一日六時間のヘルパー介助で、自立生活をしている。ギリギリの生活なので、これ以上、負担が増えたら……」などと不安を話した。

最後に「障害が重度なほど、生活のことに費用がかかるのでは優しい社会と言えない」などと主張するアピールが読み上げられ、満場の拍手で採択された。

フォーラムでは「障害者自立支援法案」への不安を訴える声が相次いだ。金沢市西念で



国会で審議中の「障害者自立支援法案」を考えるフォーラム（同実行委主催）が十八日、金沢市西念の市保健所であり、約三百人が法案の問題点などを話し合った。現在の生活水準を維持し、障害者への負担増に反対するアピールを採択したほか、法案見直しに向けて積極的に活動し、県選出の国会議員らに働きかけることも決めた。

法案は障害の種類や自治体ごとに違う福祉サービスを一元化し、全国共通の審査などで市町村格差を解消する一方、サービスに原則一割の定率負担などを求める。法案は十五日に衆院を通過、近く参院で審議が始まる。

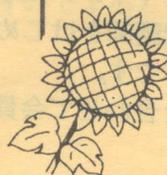
会員の現況

新入会員

正会員 吉田さん、大嶋さん

正会員 76名

賛助会員 21名



(嶋津栄之)